

有線給電式ドローン

簡単な自律制御可能に

熊本高専が
操縦法開発

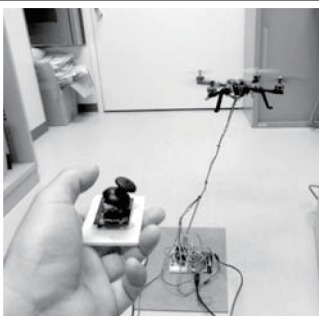
熊本高等専門学校情報通信エレクトロニクス工学科長の葉山清輝教授は、有線給電式飛行ロボット（ドロー

ン）の簡単な自律制御法を開発した。操縦用のジョイスティックに倣うようにドローンが自動で飛行する。GP

Sが使えない屋内や橋の下での点検、定点警備カメラなどの操縦法として提案する。ジョイスティックの

角度と給電ケーブルの根元の角度が同じになるように自動で飛行をフィードバック制御する。ドローンと地上機との位置関係を一度決めたら、その相対位置を維持し続ける。制御精度はケーブルを張った球面上で前後左右に走らせて目的の場所を点検するなど操縦が簡便になる。

ドローンはGPSや距離センサーで自律制御させなくてもすむ。特許で権利化せず、誰でも広く使える技術として提供する。



ジョイスティックでドローンを操縦（熊本高専提供）